新聞記事掲載
【2018.11.30　電波新聞（3面）】

2018年(平成30年)11月30日(金曜日)　電　波　新　聞

日立ソリューションズ／日立ソリューションズ・クリエイト

セキュリティ技術力向上へ 社内コンテストを継続開催

実践的なスキル習得 人材の発掘も

チームで作戦を立てて問題に挑んだ

日立ソリューションズと日立ソリューションズ・クリエイトは、セキュリティの技術力を高める目的で、社内セキュリティコンテストを行っている。

サイバー攻撃が巧妙化する中で、セキュリティ技術者の技術力を高めるう「セキュリティスキルことは大きな課題だ。両コンテスト」と、団体戦社は昨年からコンテストとなる「ハッキングスキを開催し、知識の習得だルコンテスト」の2回開けでなく実践的なスキル催。今年はグループ内外の習得にも取り組む。から多数が参加した。

社内セキュリティコンテストは、セキュリティスキルコンテストは、システムの技術力の向上、若手技術構築や運用に関わる技術者のモチベーション向上、社内外へのアピールの3点を目指し開催しており、技術者の交流の場としても位置付けている。

コンテストは個人で戦う以外に日立製作所や日立システムズなどからも参加し、500人以上が挑んだ。

一方のハッキングスキルコンテストは、セキュリティに関わる技術者が対象で1チーム4人の団体戦で戦う。より専門技術に精通している技術者が参加し、サイバー攻撃に対抗できる技術力を競った。

このほど開催したハッキングスキルコンテストの様子

は日立ソリューションズ・クリエイトから4チーム、日立ソリューションズ・クリエイトから5チーム、日立製作所と日立システムズから招待チームも参加し計12チーム（前回9チーム参加）で戦った。

コンテストの問題は画像やWeb、プログラムなど分野ごとに設問が用意され、計25問から選択し回答していく。職場の仲間が集まって結成したチームなども多く、分担して設問を解くチームや共同で一つの設問に挑むチームなど、それぞれの作戦のもと戦っていた。

結果は、1位が「チーム深海魚」（日立ソリューションズ・クリエイト）、2位「火中の栗」（同）、3位「くりのい」が（同）、4位「グレーゾーン」（日立製作所）、5位「SFNDVEZ7NTVIME5FNTBOMDF9」（日立ソリューションズ）となった。

コンテストは技術力の向上だけではなく、人材発掘なども目指している。日立ソリューションズ・クリエイト新事業開発部の田中亜友子部長は「コンテストを通じて、社内に眠るセキュリティに長けた技術者を発掘することも目的になっており、新しい動きも出てきている」という。

今後も、日立ソリューションズグループでセキュリティ技術向上に向けた取り組みを進めていく計画だ。

※本記事は、発行元の許可を得て掲載しております。